

月刊

ボランティアと、
地域活動の情報満載。

10月号

無料

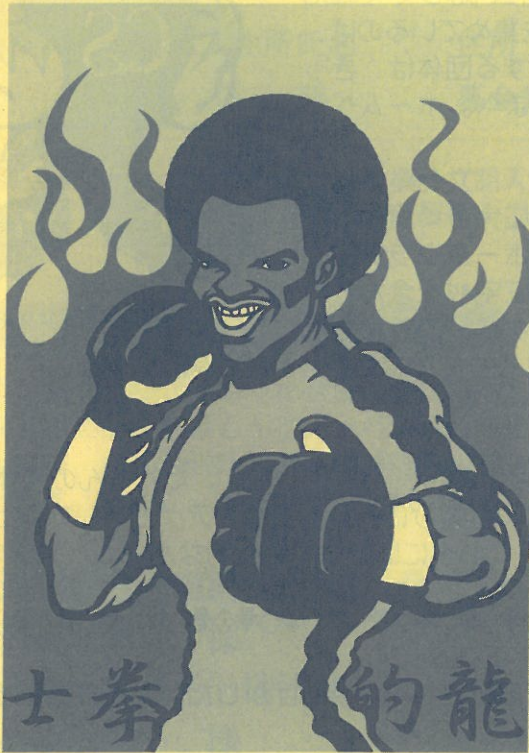
9月25日発行(第38号)

ボラナビとは

ボランティアナビゲーション(案内役)
を略した造語です。

今月の表紙は、白石区原義一さん(29才)の作品です。原さんは切り絵を始めて10年。昨年からはプロとして活動しています。これまでに、お店の広告や札幌芸術の森のイベントのポスターなどを手がけていて、「今後は、Tシャツやステッカーのデザインもしてみたい」とおっしゃっていましたよ。

(ボラナビの表紙に載った絵は、ボラナビHPでカラーで紹介しています)。



特集

9月1日
より

「ねっとぼ金」が
スタートしました!

NPO パワーアップセミナー報告 前編

みなさまからのお便り特集

9月1日
より

「ねっとぼ金」が スタートしました!

<http://www.npohokkaido.jp/volunavi>

ご協力くださったみなさん、ありがとうございます。

インターネットを通して、NPO法人やボランティア団体を応援する「ねっとぼ金」ホームページが、9月1日、ついにスタートしました。試験的に1年間行う予定です。

ホームページでさまざまな団体とその活動内容を紹介し、活動趣旨に賛同した人がその団体にぼ金できるシステムです。ボラナビが昨年秋頃から準備を進め、たくさんの方の協力をいただいて、オープンの日を迎えることができました。

こんな団体が紹介されています

コンサドーレ札幌のドーレくん

「ねっとぼ金」ホームページで紹介するのは、ボラナビから「ホームページに参加しませんか?」と呼びかけられ、応じてくれた団体。スタート時は、ぴったり100(!)、募金を集めているのは、そのうち70団体ほどです。ホームページに掲載する団体は、きっとこれからも増えますよ! (※各団体のみなさまへ。ホームページ上で申し込みを受け付けています)。

道内で活動している非営利団体を中心ですが、<文化・芸術・スポーツ>のジャンルに北海道のスポーツ振興に大きく貢献しているコンサドーレ札幌(株式会社北海道フットボールクラブ)、<災害救援>として三宅島近海地震で被災した三宅村を含んでいます。三宅村には、ボラナビ倶楽部ねっとぼ金を通して義援金を送ります。災害に遭われた方々の生活に少しでも役立てていただければと思います。



©1996 H.F.C

まずは活動を知ってほしいです

「ねっとぼ金」ホームページは、「ボランティアのポータルサイト」。たくさんの方の活動を広く知ってもらうことが第一と考えていますので、遊びに行く気持ちでアクセスしてください。道内のNPO法人やボランティア団体について知りたい人にはとっても便利なホームページです!



「こんな活動をしている人たちがいるんだ」「自分でも何か手助けがしたい」「応援したい」…と感じたら、ぜひ、募金をお願いします。

ぼ金の手順

データベース

活動内容によって、<保険・医療・福祉> <まちづくり>とジャンル分けしています。興味のあるジャンルをクリック、または団体名や団体紹介にある言葉で検索。

団体紹介のページ

紹介文、活動している人からのメッセージを読んで、活動内容に賛同したら、団体名の右下にあるねっとぼ金マークをクリック(マークがない団体は募金を集めていません)。

ぼ金のページ

募金(支払い)方法は、コンビニ決済または郵便振込というシステムを利用して下さい。

コンビニ決済

利用できるコンビニは、セブンイレブン、ローソン、サンクス、ファミリーマート、サークルK、ミニストップ、スリーエフ、a m / p m、ポプラ、セーブオンの10社です。

名前、住所、募金額を入力

ポラナビ倶楽部から募金する方へ
受付メールを送信

ポラナビ倶楽部から募金する方へ
コンビニ払込取扱票を郵送

コンビニで支払い(募金完了)

ポラナビ倶楽部から募金した人へ
サンキューメールを送信

または

郵便振込み

郵便局で払込取扱票を受け取り、以下の内容をご記入の上、お振込みください。

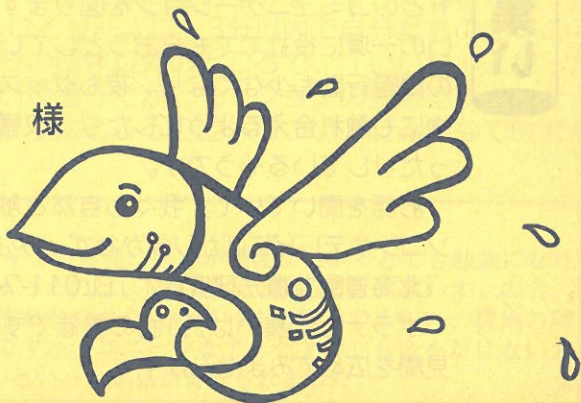
口座番号 : 02790-6-22996 番
加入者名 : ねっとぼ金
金額 : 募金する金額
払込人住所氏名 : 住所・氏名・電話番号
通信欄 : 募金先団体名など。

※「募金先団体名」を忘れずに通信欄へご記入くださいますようお願いいたします。
なお、ポラナビ倶楽部から、振込み確認のご連絡はいたしませんのでご了承下さい。

「ねっとぼ金」の運営を支えているのは…

ポラナビ倶楽部が「ねっとぼ金」の仕組みを運営するためには、さまざまな運用諸経費がかかります。その経費のほとんどは、バナー広告を出して下さっている企業に大きく支えられています。現在、以下の6社にバナー広告を出してもらっています。この場をお借りして、深く感謝申し上げます。本当に、ありがとうございます。

- 北海道総合通信網株式会社 (HOTnet) 様
- 北海道新聞社 様
- 北海道アルバイト情報社 様
- 北雄ラッキー 様
- 北海道ビジネスオートメーション株式会社 様
- 札幌通運株式会社 様
(広告をいただいた順)



NPO パワーアップセミナー報告 前編

NPOに関心がある人の能力アップを目指して、8、9月に4日間のNPOパワーアップセミナーが開かれました。北海道外からいらした多彩でユニークな講師陣のもと、道内からNPO関係者が集まって受講。ボランティアスタッフも参加しました。講義の内容のほんの一部をご紹介します。

NPOパワーアップセミナーは、住友生命社会福祉事業団と日本NPOセンター（東京）が主催で、札幌、岐阜、松山、福岡、東京、大阪の6ヶ所で開催しています。札幌での開催は、北海道NPOサポートセンターが共催です。

このセミナーは、個々のNPOの組織基盤を強化することなどを目的に、NPO法人や法人格の取得を検討する市民活動団体スタッフを対象に開かれました。4日間の参加費は5000円。参加人数は主催者の予想を大きく上回る45人でした。

特定非営利活動法人 日本NPOセンターより

日本NPOセンターは、分野や地域を越えたNPOの基盤強化を図るとともに、企業や政府との対等なパートナーシップの確立を目的に、1996年11月に設立。99年6月1日に特定非営利活動法人となりました。主な活動内容は、NPOに関する資料・文献の収集や発信、NPO関連の基礎的・実践的講座・研修の実施、機関誌『NPOのひろば』の発行やNPO関連書籍の発行、その他相談事業、研究事業なども行っています。こうした活動を通して、より多くの方にNPOに対する理解と関心を深めていただきたいと思います。



旭川・中札内・佐呂間から参加した方もいた

★ 8月の集い

8月の集いは『北海道園芸療法研究会』の杉原式穂さんにお越し頂きました。園芸療法とは、第2次世界大戦後、アメリカで、戦争神経症などの心の病に悩んでいる人たちに、音楽療法などと同時に始められた療法の一つです。日本では1991年くらいから関西などで、広まっていったそうです。

様々な園芸を集団で行うことによって、参加者同士、またはボランティアやセラピストとのコミュニケーションを図ります。また、収穫などの楽しみを作ることで、生きがいの一環に役立ててもらおうとしているそうです。園芸療法を実施した後は、徘徊等の問題行動も少なくなり、夜もグッスリと眠れます。また園芸の他に、鳥や猫などの動物にも触れ合えるようにしたり、収穫が終わった冬には、室内でハロウィンの置物を作ったりしているそうです。

お話を聞いていて、我々も自然と触れ合うことが必要ではないか、と感じました。パソコンやテレビにばかり向かわず、みなさんも自然に触れ合って「癒されて」みませんか？

(北海道園芸療法研究会 TEL011-746-9306 FAX011-746-9334)

ボランティアの集いは月1回の開催です。様々なボランティア団体の話を聞いて、自分の見聞を広めてみませんか？

(ボランティア社会人スタッフ 赤川 直)

第1講義

8月17日(金)
13:00 ~ 18:00

★ 「何故、NPOなのか？」
~活動を高めるミッションづくりに向けて~

★ 「ミッションとは何か？」
~ワークショップ~

トレーナー

早瀬 昇氏 (大阪ボランティア協会理事・事務局長)

1955年、大阪府生まれ。学生時代から「大阪交通遺児を励ます会」「誰でも乗れる地下鉄をつくる会」などの活動に参加。大学卒業後、欧州の福祉施設で研修。帰国後、大阪ボランティア協会に就職。91年より現職。日本NPOセンター常務理事、大阪大学人間科学部客員助教授を兼ねる。大の阪神タイガースファン。

みなさんは、以下の質問について、○と答えますか？×と答えますか？

- 1) 全ての人がボランティアをするようになって、わざわざ「ボランティア」と呼ばれることがないような世の中になるのがいいと思う。
- 2) ボランティアは細く、長く続けることが大切。
- 3) ボランティアは公平、平等な活動が大切。
- 4) ボランティアは実験的、開拓的であることが大切なので、制度化されたら活動は解消するのがいい。
- 5) 自分のことをきちんとできない人は、ボランティアをすべきではない。
- 6) ボランティア活動中の事故については、公的な保証が必要だと思う。

同じNPOを構成する人の中でも、実は意識は違っていることが多い。この質問に正解はありません。私は全てに×と答えましたが、こうやって会場の皆さんにお聞きすると、とらえ方はバラバラなことが分かります。

心理学者、ロジャースによると、なにが活動を始める時の、言い出しっぺになりうる人は3パーセント、それを「おもしろい！」と乗ってくる人は14パーセント、「ほっとくのはかわいそうだから」と手伝ってくれる人は34パーセントだそうです。つまり計51パーセントの人によってNPOは始まります。

NPOにとって、「この活動は絶対に大切だ」という思いこみや、「自分たちにしかできない」という思い上がりは大切です(笑)。たいていNPOはパッション(情熱)で始まりますが、それをミッション(使命・目的)に昇華していかななくてはなりません。自分たちがやっていることの意味づけは、自分たちでやっていかななくてはなりません。

日本NPOセンターの山岡義典さんが開発したワークショップをしてみましょう。皆さんに、おもちゃの1万円札と5千円札を配ります。これからひとり一人に、3分以内で自分たちの団体のミッションを話していただきます。その後、自分たちの団体以外のところで、「いいな」と思ったところにお金を寄付してください。なぜ寄付したいと思ったか、ミッションの説明でよかったところを教えてください。その後、寄付が集まらなかったところの団体について、みんなで改善策を考えてあげましょう。



早瀬 昇氏



ボラナビスタフより

4時間の早瀬さんの講義は、関西弁でギャグの連発。笑いが絶えない中でとても勉強になりました。ワークショップで一番寄付が集まったのは、NPO法人「飛んでけ！車いす」の会。東南アジアなどへ行く旅行者に、日本で使われなくなった車いすを運んでもらい、現地の障害者に使ってもらう活動をしている団体です。「ユニークなアイデアで、お金をかけない方法がいいと思った」「ネーミングがいい」といった意見が寄せられました。

第2 講義

8月18日(土)

10:00 ~ 16:00



「戦略的な事業計画の立てかたとは？」
ミッションを実現するために。



ワークショップ
具体的な事業計画の作り方について。

ト
レ
ー
ナー

加藤 哲夫氏 (せんだい・みやぎNPOセンター代表理事)

1949年福島県生まれ。1986年HIV感染者サポート活動開始、1992年エコロジー運動を提唱・推進する。一方、NPOによる新しい市民社会のシステムづくりにも取り組み、1996年6月には全国初のケースとして、仙台市より、市民活動支援施設「仙台市市民活動サポートセンター」の運営・管理の受託に尽力。著書「加藤哲夫のブックニュース最前線」(無明舎)など多数。

同じNPOのスタッフでも意識や方向性が一緒とは限りません。できれば合宿形式のミーティングや総会などでじっくり話し合い、時々確認しあうことをお勧めします。

NPOには二つの顧客があります。NPOの活動を資金や労力で支援してくれる人と、NPOのサービスを受ける人です。その他の要素の過去・現在・未来を加味しながら、皆さんの団体の「事業と組織の展望」を考えてみてください。図A。

次に、自分たちの団体の強み・弱みを考えながら、事業計画をたててみましょう。そこには次の5点を盛り込んでください。

①目標 ②手法 ③資源調達法 ④期限 ⑤責任者



加藤 哲夫氏

図A

■事業と組織の展望 ボラナビスタッフが書いた例 (めっちゃめっちゃ…)

	2年-3年前	現在	1年後	2年-3年後
顧客とニーズ	ボランティアに興味のある個人、団体。(A) [ボランティア情報] (1)	(A) + NPO1年生。(B) [(1) + NPO初級情報] (2)	(B) + NPO2年生。(C) [(2) + NPO中級情報(?)] (3)	(C) + NPO3、4年生。 [(3) + NPO上級情報(??)]
関連団体の動き			NPOが主催するNPOマネジメント講座が大盛況?	???
地域・社会制度	NPO法ができる。	NPO法人増加。 NPO支援税制のスタート?	NPOと企業、NPOと行政の協働が始まる? 公共におけるNPOの役割が増大する。	学校でNPO学が盛んになり、就職先にもなりはじめる?
自分達は何を?	「月刊ボラナビ」創刊 + 発行。(I)	(I) + ねっとぼ金の試行。	ニーズの広がりを「月刊ボラナビ」で対応できるか? ねっとぼ金の効果は? 次の展開は?	細分化するであろうニーズに、どれだけ応えられるか? 何をするか。何をしないか。



ボラナビスタッフより

NPO活動を先駆的にやっていた加藤さんの話は説得力がありました。ワークショップを行なうことで、自分自身の考え、同じNPO団体のスタッフ同士の考えを確認できます。なお、せんだい・みやぎNPOセンターや宮城県職員、学識経験者で作った仙台NPO研究会発行の「公務員のためのNPO読本」(ぎょうせい)にはNPOと行政の協働について詳しく書かれています。浅野知事の推薦書です。

みなさまからののお便り特集



ボラナビ倶楽部では、みなさまからののお便りをお待ちしています。メール、FAX、お手紙などでどうぞお寄せください。よろしくお願いします。



ボラナビ6月号で「知人の介護のお手伝い有償ボラ」を募集した 戸澤さん

たくさんの方からご連絡をいただきとても助かりました。ご本人と家族のかたと相談の上、お願いする方を決められそうです。その後からご連絡いただいた方には申し訳ありませんがお断りしています。どうもありがとうございました。



札幌微助人倶楽部 伊藤さん

先日は外出介助ボランティア募集の件でご配慮をいただき本当にありがとうございました。お蔭さまで何人かから問い合わせがありまして、早速お願いしました。介助を受ける石田さんからもよろしくお伝えくださいとのことです。今後ともよろしく願いいたします。



ボラナビ7月号でボランティア募集をした 支援相談員 安念美香さん

介護老人保険施設「北野の四季」のボランティア募集の記事にたくさんの反響を頂き、また、施設でのボランティア活動に参加していただきありがとうございます。今後ボランティアの皆さんがより活動しやすいよう施設の環境・体制を作っていきたいと考えておりますので今後ともよろしくお願い申し上げます。



チェルノブイリへのかけはし 苅部美奈子さん

6月23日、24日の「チェルノブイリの子どもたち おいでおいでバザー」が無事終了しました。150人以上のボランティアの方に参加していただきました。ご協力感謝いたします。

今回は3ヶ月保養の子どもたちもバザーに参加し、日本の子どもたちと一緒に「いらっしゃいませ〜」と呼び声を繰り返し、とっても温かいバザーでした。収益金は、夏休みを元気に過ごし、ベラルーシへ帰国した45人の子どもたちの渡航費用の一部となりました。これからもよろしくお願いいたします。



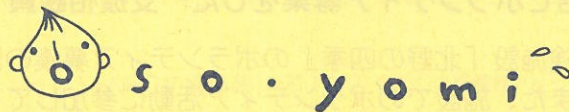
各社の新聞には、NPO、地域、福祉などなど興味深い情報がいっぱい。古くても「これは多くの人に知らせたいなあ」というような記事を集めています。このコーナーに掲載できるような記事がありましたら、新聞社名と掲載日が分かるようにしてボラナビ倶楽部にFAXしていただくと嬉しいです。

捨て子対策に「置き去り箱」

生まれたばかりの赤ちゃんを残して立ち去っても親は罪には問われない。そんな箱が昨年ドイツ北部のハンブルグにお目見え。1年で6人が置き去りにされ、育てたいと希望する夫婦に迎えられた。当初反対意見も出たが、政府は認めた。

望まない妊娠をした女性の電話相談をする市民団体「シュテルニパーク」が捨て子対策にと考えた。ふたの取っ手を引くと37度に保たれた小さなベッド。赤ちゃんが寝かされると近くのボランティア宅のアラームが鳴る仕組みだ。「出産した人が育てない子どもは、社会全体で受けとめればいい」と関係者は話す。

(朝日新聞 2001年5月18日)



私大講師ら「学校」を設立

私大の非常勤講師らが今春、社会人を対象にした「学校」をつくった。大学の経営悪化などで授業の持ちコマが年々減る傾向にある非常勤講師が自らの手で働く場を作り出そうというもの。メンバーの多くはもっと教えたいという熱意は強く、少人数で大学教育と同レベル以上の授業を提供したいと意気込む。

運営するのは非常勤講師らが作るNPO法人「教育文化ネットワーク」(東京)。校舎があるわけではなく、公共施設の会議室などが教室だ。これまでに行われた講座は「インターネットビジネスの現状と将来」「バロックオペラの世界」など。社会人や学生など25人ほどが受講。語学講座なども予定している。少人数なので初めは緊張するが、質問しやすい雰囲気よかったという参加者。一方の講師も、「学生とは学ぶ姿勢や意欲が大違いで教える側としても緊張感が違う」と手ごたえは充分の様子だ。

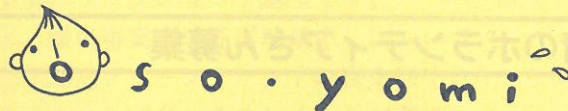
(朝日新聞 2001年4月23日)

顔って何？

あざや傷跡などを顔に持つ人たちのグループ「ユニークフェイス」が体験や思いを織り込んだ本「顔とトラウマ」を出版した。ユニークフェイスは99年に設立。体験を語り合い、認識を広げる活動を進めてきた。近くNPO法人格の取得を申請し、全国的に活動を強化する方針。

家を出れば突き刺すような視線を浴び、就職差別さえ受ける現状に「人間にとって顔とは何か」という日夜直面する思いを社会に問いかけていくという。

(読売新聞 2001年7月1日)



警察官や市バス運転手もボランティア募り運営

英国では過去10年間に1000の警察署が閉鎖。民間からパートタイム警察官を雇ったり、ボランティアが警察署を引き継いだりするケースが増えている。

ロンドン郊外のイーストモズリー署が警官不足で閉鎖されたのは2年前。途端に空き巣や自動車盗の被害が地域で急増。住民はボランティアを募って署の運営を引き継ぐことに決めた。会社員ら20人が警察本部で研修を受け、週2交代で警察署に詰める。おもな仕事は盗難被害の受理、取得物の保管、道案内で、事件や事故は別の署の警察官に急行してもらう。犯罪は目に見えて減った。また、英国では公立校教師4千人、公立病院看護婦2万2千人が不足する。失業率は5.5%と過去25年で最低。ロンドンの市バスにもフランス人運転手が登場し、従来、無縁と思われていた職種にまで外国人が進出し始めた。

「大きな政府」よりも「市民の義務」を重んじるブレア政権は、ボランティアについても、公共サービスの主力に位置づけていく方針。労組などは昇給や長時間労働解消で求職志望者を増やすべきだと批判。南アやニュージーランドなど人手を失う立場の国からも一方的な人材の収奪との反発が出ている。

ケント大学のリチャード・スペース教授は「多様な経験や文化を持つ人材が公共部門を担う利点は大きい、高齢者や障害者、女性ら社会進出から取り残されている人々の積極登用にも力を入れるべきだ」と指摘する。

(朝日新聞 2001年5月25日)

技術と実績でお客様にあった
情報ソリューションをお届けします。

ソフトウェア開発・受託計算・受託穿孔・機器販売・機器保守・運用管理

 **北海道ビジネスオートメーション株式会社**

Hokkaido Business Automation co., LTD (略称:HBA)

本社 / 〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目緑苑ビル TEL (011) 231-8301

HBAシステムビル・東京・旭川・北見・帯広・釧路・室蘭・稚内

<http://www.hba.co.jp/>



ボラナビでは、今、**12月号**に掲載する情報を集めています。**10月25日まで**に、最終ページにあるボラナビの宛先までお寄せください。

※ボラナビは、掲載されている団体の全てを把握しているわけではありません。詳細はそれぞれの団体にお問い合わせください。

イラスト：タケダミヲ

常時

学童保育のボランティアさん募集

●**内容**：学童保育「あおぞらクラブ」では、1年生から6年生までの子どもたちが放課後や学校休業日（夏休み等）に過ごしています。この子どもたちと遊んでくださるボランティアさんを募集しています。子どもが好きな方、定期的に来てくださる方、スポーツが好きで子どもたちと外で遊んでくださる方、専門学校生か大学生以上の方、また、できれば男性の方に来ていただけると嬉しいです。少しでも興味のある方はぜひご連絡ください。

●**日時**：月～土曜日 13:00～18:00で都合のよい時間

●**場所**：東区北25条東19丁目5-5

●**連絡先**：あおぞらクラブ TEL 011-782-7736

10/13

第14回日本の森と自然を守る全国集会in北海道

●**内容**：北海道自然保護協会は、1964年12月、大学、実業界などいろいろな分野の専門家や自然愛好家が集まって作られた団体で、これまでに知床森林伐採問題、士幌高原道路問題など数々の自然保護問題に取り組んできました。この度、北海道自然保護連合（北海道自然保護協会も加入）が中心になって実行委員会を結成し、下記のとおり「見つめなおそう日本の森 地域と地球から」というテーマで「日本の森と自然を守る全国集会 in 北海道」を開催いたします。この機会に自然保護について一緒に考えてみませんか？

●**日時**：10月13日（土）13:00～17:30

●**場所**：共済ホール（中央区北4条西1丁目）

●**講演内容**：

- ・記念講演「宇宙人に変身したドロ亀さん」高橋延清氏（元東京大学附属富良野演習森林長）
- ・基調講演「知床から日高まで」立松和平氏（作家）
- ・その他、小野有五氏（北海道大学大学院地球環境科学研究科教授）、及川裕氏（十勝自然保護協会前会長）、俵浩三氏（北海道自然保護協会会長）の講演もあります。

●**参加費**：1000円

●**問い合わせ先**：日本の森と自然を守る全国集会 in 北海道実行委員会 TEL/FAX 011-251-5465
ホームページアドレス <http://www.jade.dti.ne.jp/~nchokkai/>

●**内容**：地域・コミュニティのための協働によるネットワークづくり、資金づくりの知恵をワークショップで作りだす講座を下記のとおり開催します。この講座では、環境の保全、地域・コミュニティの再生をしていく上で必要となる資金調達の方策として、コミュニティ・ファンド、公益信託等のしくみを学び、その可能性を探ります。

●**日時**：11月10日（土）10:00～16:30

●**場所**：道特会館 大会議室（中央区北2条西2丁目26番地 TEL011-251-8506）

●**講師**：講師・コーディネーター 世古一穂氏（特定非営利活動法人NPO 研修・情報センター代表理事） 事例報告講師 鈴木亨氏（特定非営利活動法人北海道グリーンファンド事務局長）、森田麻美子氏（特定非営利活動法人ボラナビ倶楽部代表理事）

●**プログラム概要**：参加型のワークショップ講座です。

<午前>レクチャー ①「環境事業団地球環境基金」について

レクチャー ②北海道グリーンファンドの資金づくり

レクチャー ③「ねっとぼ金」そのしくみと可能性

<午後>ワークショップ

●**定員**：全日30名（先着順）午前80名（午後のみ参加はできません。ご了承ください）

●**参加費**：全日2000円 午前のみ1500円（当日ご持参ください）

※参加費には、団体の運営と資金づくりに役立つブックレット2冊の代金1000円分が含まれています。

●**申込み方法**：所定の申込書により事前に申込みが必要となります。下記問い合わせ先から申込書を取り寄せ、必要事項を記入の上、FAXにてお申込みください。

●**問い合わせ・申込み先**：特定非営利活動法人NPO 研修・情報センター

（東京都国分寺市本町3-10-22）TEL 042-359-8605 FAX 042-359-8606

E-Mail：ticn@mui.biglobe.ne.jp

ホームページアドレス：http://www.jca.ax.apc.org/~ticn/

●**内容**：社会福祉法人アンビシャスは、昨年4月に設立された身体障害者の自立支援を行っている総合施設です。今、同じ建物の中で、ディサービス・授産・福祉ホームの3事業を運営しており、利用者さんと一緒に楽しく活動して下さる方を募集しています。老若男女問いません。明るくて人と接するのが好きな方は、ぜひ一度お越しください。特に韓国のハングル語の得意な方も募集しています。来年はDPI障害者国際会議が札幌で開かれます。アンビシャスにも30人の韓国の方がいらっしゃいますので、皆さんと一緒にハングル語を勉強しましょう。また、釣り好きのボランティアさんも募集中です。少しでも興味のある方、ぜひご連絡ください。

●**日時**：月～金曜日 10:00～15:00 都合のつく時間（昼食は300円で食べられます）

●**連絡先**：社会福祉法人アンビシャス（手稲区西宮の沢6条2丁目344-68）

地下鉄宮の沢駅からJR循環バス宮の沢3条5丁目下車 徒歩10分

TEL 011-669-2222 FAX 011-669-3000 E-Mail：ichigo15@coral.ocn.ne.jp（担当：宮内）

※電話は9:00～18:00にお願いします。

10~12月

「ボランティア展講座」を開催します

●**内容**：ボランティア展実行委員会では、ボランティアのきっかけづくりを通して、地域に「温かいところ」を育てることを目的として、ボランティア展講座を開催します。小学生以上のどなたでも参加できます。参加費は無料です。また、12月9日に札幌サンプラザで開催予定の「ボランティア展2001」のボランティアスタッフも募集しています。ご連絡ください。

講座内容

<ボランティア体験コース（全3回）>

●**日時**：10月9日（火）10:00～12:00 講座とボランティアグループ紹介

10月3・4週の中から2日間 各自施設を選択しボランティア体験

●**場所**：北区民センターおよび各施設（社会復帰センター、北区おもちゃ図書館、新川エパライフ、くりの木作業所、はぐくみ保育園など）

●**定員**：20名

<介助ボランティアコース（全2回）>

●**日時**：10月6日（土）14:00～16:00 車椅子・アイブランド体験と介助

10月20日（土）14:00～16:00 知的障害者のガイドヘルプ

●**場所**：北区民センター

●**定員**：30名

<手話コース（全3回）>

●**日時**：11月10日（土）14:00～16:00

11月24日（土）14:00～16:00

12月1日（土）14:00～16:00

●**内容**：手話あいさつ、五十音、手話の歌

●**場所**：北区民センター

●**定員**：30名



●**申込み方法**：TELまたはFAXでお申込みください。ホームページからのお申込みも可能です。

●**問い合わせ・申込み先**：ボランティア展実行委員会 TEL/FAX 011-771-3493（担当：井齋）
ホームページアドレス <http://www.kbc.gr.jp/ai/>

常時

子どものリハビリのお手伝い募集

●**内容**：先天性心疾患を持ち、途中で脳障害を抱えた2才の男の子のリハビリをお手伝いしてくださる方を募集しています。以前にもボラナビに掲載していただき、何人かの方に来ていただいているのですが、まだ人数が足りません。リハビリは、ドーマン法をベースにしたキャッチ療法で2～3人が必要です。ビデオに撮ったものを見ていただいてから始めますので、初めての方でも大丈夫ですが、健康で体力のある方を希望します。なお、万が一の事故のためにボランティア保険への加入をお願いします。

●**日時**：毎日 8:30～10:30 13:30～15:15

●**場所**：北区太平3条3丁目 1-18-201

●**連絡先**：TEL/FAX 011-773-4458（佐々木）

●**備考**：交通費250円までお支払いしますが、できれば近所の方をお願いします。

短期**サンフランシスコNPO継続インターンシップ参加者募集**

●**内容**：アメリカのNPO法人 日本太平洋資料ネットワーク (JPRN) は、2001年秋から「サンフランシスコNPO継続インターンシップ・プログラム」を実施します。サンフランシスコ周辺にある5つのNPOに、日本から2ヶ月余りインターンを4回継続して派遣し、NPO運営やNPOが扱う問題への理解を深めていただくものです。現在、このプログラムへの第2回参加者を募集しています。詳細については下記までお問い合わせください。

●**実施時期**：2002年1月28日～3月29日 ●**申込み期限**：2001年11月12日

●**問い合わせ先**：日本太平洋資料ネットワーク東京オフィス
(東京都中央区銀座8-12-11 第2サンビルF6)

TEL 03-3524-8821 FAX 03-3524-8825

E-Mail : jprn@igc.apc.org ホームページアドレス : <http://www.jprm.org>

常時**日常のお手伝いボランティア 募集**

●**内容**：私は鹿野靖明(41才)といます。筋ジストロフィー症で人工呼吸器を使用しながら一人暮らしをしています。着替えや食事、読書など日常生活のお手伝いをしてくださる方を探しています。これまでも何度か募集をしたのですが、現在も人手が足りません。研修期間は一人になることはなく、先輩ボランティアが何でも丁寧に教えていくので、初めてボランティアをするという人でも心配ありません。安心して来てください。性別は問いませんが、年齢は16～50才くらいの方、よろしく願いいたします。

●**日時**：①日曜以外、週1回あるいは隔週 17:30～21:00 ②泊まり 週1回あるいは隔週 21:00～翌11:00 (※時間応相談、仮眠あり) ③日曜日 月1回程度 11:00～18:30 (※研修中は月2回)

●**場所**：西区山の手2丁目3-1 道営団地1-8 (地下鉄琴似駅5番出口から徒歩10分)

●**連絡先**：携帯 090-8276-3174 (野地)

●**その他**：交通費は支給いたします。

10/20/21**文化祭の準備を手伝ってください**

●**内容**：NPO法人札幌市肢体障害者協会では、札幌市中途難失聴者協会と合同文化祭を毎年開催していますが、ここ数年会員の高齢化に伴い、準備作業がとてつもない困難になってきています。そこで、文化祭の準備、翌日の後片付けを手伝ってくださるボランティアさんを募集しています。作業の内容は、展示場、模擬店、客席を作るために、机・パイプ椅子・卓球台等の移動とその片付けです。ぜひご協力をお願いいたします。

●**日時と募集人数**：10月20日(土) 10:00～12:00 6名
10月21日(日) 14:00～16:30 6名

●**場所**：札幌市身体障害者福祉センター
(西区二十四軒2条6丁目 地下鉄二十四軒駅下車徒歩3分 TEL 011-641-8851)

●**問い合わせ先**：NPO法人札幌市肢体障害者協会
TEL/FAX 011-641-2122 (担当：遠藤 10:00～15:00)

●**その他**：交通費1000円と食事をご用意いたします。

10/28

「森の種採り」と「森の種まき」を行います

●**内容**：真駒内・芸術の森『緑の回廊基金』では、「森がみんなの手で増えるといいね」という森たくさんプロジェクトの一環として、下記のとおり「森の種採り」と「森の種まき」を行います。森（真駒内～芸術の森にかけての森の回廊）から種を採取し、苗床・苗木ポットをみんなで育てます。育てた苗木は、南区真駒内川河畔、札幌市水道局の敷地などに植樹し、連続する森をみんなで作っていきます。あなたも森づくりに参加してみませんか？

<森の種採り>

●**日時**：10月7日（日）10:00～12:00

●**集合場所**：南区民センター前

●**持ち物**：スーパーの袋

●**参加費**：100円（保険代を含む）

※活動後の懇親会に参加される場合は、別途1500円（バーベキュー代）が必要です。

<森の種まき>

●**日時**：10月28日（日）9:00～12:00

●**集合場所**：地下鉄真駒内駅バス停1番

●**持ち物**：軍手

●**参加費**：300円（森の苗木材料費、保険代）

●**問い合わせ**：真駒内・芸術の森 緑の回廊基金 TEL 090-3395-5450（担当：そりはし）



10月のボラナビの集いの
ゲストスピーカーです。

常時

通勤の介助をしてくれる方 募集

●**内容**：右半身麻痺の40代の男性です。職場から自宅までの通勤介助をしてくださる方を募集しています。介助といっても杖歩行でほぼ自立して歩けるので、バスの乗り降りの介助をしていただくだけで大丈夫です。交通費はこちらで負担し、多少の謝礼も考えています。よろしくお願いいたします。

●**場所**：道庁1階～近くのバス停～宮の沢営業所～自宅（徒歩約10分）

●**日時**：月～金曜日 17:00から18:00頃まで（不定期でも構いません）

●**連絡先**：携帯 090-2819-5459（近藤）※17:00以降にお願いします

全世界の障害者が連帯する第6
回障害者インターナショナル（DPI）
世界会議札幌大会が、2002年10月
15日から18日に札幌市「きたえる」
で開かれます

たれもが元気に喜らせる優しい街
づくりを、北海道新聞は積極的に応
援します。

北海道

道新は応援します、
DPI世界大会。

道新は、北海道の元気を応援します。
北海道新聞
<http://www.hokkaido-np.co.jp/>

ボラナビの主な配付先

ボラナビは毎月25日に発行し、各所で無料配布しています。
(問い合わせの多い大通り、札幌駅近辺のいくつかには住所も書いています)

●札幌市内と近郊の大学・専門学校●

大谷短期大学、札幌医科大学(本屋)、北海道浅井学園大学、札幌学院大学(江別BBS)、札幌国際大学、天使女子短期大学、藤女子大学、北海道文教短期大学、北星学園大学、北海学園大学、北海道医療大学、札幌福祉専門学校、北海道芸術デザイン専門学校、北海道医薬専門学校、北海道大学、北海道教育大学、小樽商科大学、札幌大学、酪農学園大学、武蔵女子短大

●スーパー●

北雄ラッキー、スーパーJOY、札幌東急ストア、ホクレンショップ・ホクレンディスカウントショップ、コープさっぽろ、SEIYU、マイカルSATY、ラルズ系スーパー、マックスバリュ<以上のスーパーの市内全店>、札幌フードセンター(平岸、元町、澄川、北、新道、篠路、豊平、琴似、菊水、森林公園、カストムー東苗穂、月寒中央)

●書店●

文教堂 本の店 岩本 市内全店、紀伊国屋書店 市内全店と小樽店、くすみ書房、ダイヤ書房(北25東8、発寒14条3丁目、川沿1条1丁目)、ピヴォブックセンター(南2西4ピヴォ6階)

●レンタルビデオ店●

TOWA・フォレストページ 市内全店、TSUTAYA(北14東6、北3西28)

●CD店●

VIRGIN MEGA STORE(南1西3ラ・ガレリア地下1階)

●映画館●

松竹、S Y遊楽、札幌劇場、シアターキノ、東宝公衆、東映劇場

●銀行●

札幌信用金庫 札幌市内と近郊全店、北海道銀行 札幌市内と近郊全店

●飲食店●

可否茶館 市内7店舗、サンローゼ、サッポロ珈琲館

●その他●

北海道環境サポートセンター(北7西5)、朝日カルチャーセンター(北2西1)、札幌国際プラザ(北1西3)、北海道電力(株) 市内全営業窓口、琴似日食コンクリーニョ、道新文化センター(大通り西3)、ライラックパセオ、JTインフォプラザ(南2西3)、さっぽろ村コミュニティ工房、JR琴似駅、JR新札幌駅

●市内公的施設●

70カ所(区役所、図書館、地区センター、市民活動プラザなどに配布をお願いしています)

10月のボラナビの集い

10/20(土) 13:30~15:30 初心者歓迎!

10月の集いのゲストは、14ページの「真駒内・芸術の森 緑の回廊基金」さんです。

場所：環境サポートセンター
北区北7西5札幌千代田ビル1階
会費：300円。

予定 11月は17日(土) 13:30~15:30

場所：環境サポートセンター
北区北7西5札幌千代田ビル1階

ボラナビでは、表紙の絵を募集しています。

応募の方は、ボラナビ倶楽部へB5以上の紙へ描いた絵を郵送してください。紙は折らないようにお願いします。採用の方には、こちらからご連絡いたします。

月日が経つのはほんと早いですね。北海道ならではの清々しい季節も終わり、冬支度が近づいてきます。気持ちは少年時代のままなのですが、40代に突入してしまいました(笑)。ボラナビでは主にねっとぼ金などの新しい企画に携わっています。紙のボラナビを基本に、どんどん新しいことにチャレンジしたいと思っています。ボラナビでこんなことしたら? あんなことしようよ! という企画をどんどんお寄せください。

(加納 高明)



読者のみなさまへ

・「月刊ボラナビ」を定期的にほしい方、お申し込みください。

定期購読料は、半年1500円で、毎月1部ずつお送りします。2~30部ずつ(札幌市外は12部まで)ご希望の場合は、半年で3000円です。この金額は、印刷、郵送費に足りていませんので、特に企業さんがお申し込みの際は協賛のご検討をお願いします。また、これまでの「月刊ボラナビ」をほしい方は、ご希望の号をお知らせの上、郵送費とカンパをお願いします。振込みの際には、お名前、住所、希望部数、FAX番号(もしくはTELかメールアドレス)をボラナビ倶楽部にお知らせください(口座番号は最終ページにあります)。

・「月刊ボラナビ」に広告を載せませんか?

広告掲載は、縦4センチ横13センチで6万円です(版下製作もできます)。ボラナビ倶楽部への協賛の意味が強く、金額は若干高めに設定させていただいています。企業の方には負担をおかけしますが、広告の数が限られるため目立ちます!掲載希望の際は、ご連絡ください。

※「月刊ボラナビ」は、毎月25日に、2万5千部発行しているボランティアと地域活動の情報誌です。札幌市内の大学、書店、スーパー、JR駅、区役所や社会福祉協議会を中心に350カ所無料配布しています。

今月協賛して下さった方々 (アイウ順)

- ・ 赤帽北海道事業本部 様
- ・ 株式会社 NTTドコモ北海道 様
- ・ 札幌信用金庫 様
- ・ 札幌創成高等学校 様
- ・ 札幌通運労働組合 様
- ・ 佐藤水産株式会社 様
- ・ 城宝 和茂 様
- ・ 進藤 芳彦 様
- ・ 高垣 正計 様
- ・ 株式会社 TAQANO 様
- ・ 辻 加奈子 様
- ・ 株式会社土屋ホーム 様
- ・ DoCoMo エンジニアリング北海道株式会社 様
- ・ DoCoMo サービス北海道株式会社 様
- ・ ドコモモバイル北海道株式会社 様
- ・ 都市研フレンズ Jr. 様
- ・ 富永 まさ与 様
- ・ 中道リース株式会社 様
- ・ 幡本印刷株式会社 様
- ・ ほくでんぼるねっと 様
(北海道電力内ボランティアサークル)
- ・ 北雄ラッキー株式会社 様
- ・ 株式会社ホクレン商事 様
- ・ 株式会社北海道アルバイト情報社 様
- ・ 北海道園芸療法研究会 様
- ・ 北海道紙商事株式会社 様
- ・ 北海道振興株式会社 様
- ・ 北海道新聞社 様
- ・ 北海道総合通信網株式会社 (HOTnet) 様
- ・ 北海道ビジネスオートメーション株式会社 様
- ・ マイクロソフト株式会社 様
- ・ 真屋 幹雄 様
- ・ 山本 強 様
- ・ 株式会社リクルート北海道じゃらん 様
- ・ 渡邊 克彦 様

協賛協力をお願い

ボラナビの発刊は企業・グループや個人からの500円からの協賛金でまかっています。1万円協賛いただいた社(方)の名前は誌面で紹介させていただいています。継続的なご協賛をお願いします(数号分まとめての振込みも可能です。政治や宗教団体などは、お断りさせていただく場合があります)。

■郵便局口座番号:02700-1-5671

■北洋銀行口座番号(普):札幌駅北口支店 0118625 (ご連絡先をボラナビにお伝え下さい。)

■北海道銀行口座番号(普):札幌駅北口支店 0816050 (ご連絡先をボラナビにお伝え下さい。)

■加入者名:ボラナビ倶楽部

情報提供をお願い

ボランティア募集やイベント情報をお待ちしています。主旨と内容、日時、場所と交通、連絡先、その他を明記し、郵送・FAXまたはEメールでお送りください(Eメールだと嬉しい!)。掲載料は無料です。12月号に掲載を希望される場合は10月25日までに送り下さい。お便りなどもお待ちしております。

ボラナビ

new

ホームページアドレス

<http://www.npohokkaido.jp/volunavi>

new

メールアドレス

volunavi@npohokkaido.jp

月刊 ボラナビ

■発行:NPO法人 ボラナビ倶楽部

〒001-0011 札幌市北区北11条西4丁目1-29

北海道NPOサポートセンター内(南向き)

FAX専用:011-716-2899(電話はかかりません)

■発行日:2001年9月25日

■発行部数:25,000部

■代表:森田麻美子

■印刷所:幡本印刷株式会社



R100 PRINTED WITH SOY INK!

この印刷物は古紙配合率100%の再生紙と環境にやさしい「大豆インク」を使用しております。